

離島・中山間地域における介護サービスのあり方を考えるフォーラム ～地域力を活かした介護サービス提供の体制を確保するために～ タイムスケジュール

開催日：令和2年2月13日（木）13:00-17:00

会場：【香川県：高松市】サンポートホール高松「第1リハーサル室」

時間・構成	内容
開会	
13:00- 13:05	主催者挨拶：全国国民健康保険診療施設協議会副会長 金丸吉昌
研究報告	
13:05- 13:30	「離島等における介護サービスの提供体制の確保方策を考える ～事業経過報告より～」 離島等における介護サービスの提供体制の確保方策のあり方と既存施策のあり方に関する検討委員会委員長 小谷和彦（自治医科大学地域医療医学センター地域医療学部門教授）
基調講話	
13:30- 13:55	「地域の介護力確保のための離島等相当サービス・基準該当サービス及び人材確保」 平井智章（厚生労働省老健局振興課課長補佐）
休憩（5分）13:55～14:00	
事例紹介	
14:00- 15:10	「実践！地域を診る目が地域に必要な介護サービス提供のカタチを生み出した」 ～地域力と介護力を高めるまちづくり～（発表：各15分 計45分） ①：鹿児島県・十島村での取組み 本砥貴子（鹿児島県：十島村役場住民課保健師） ②：徳島県・三好市での取組み 宮内鉄家（徳島県・三好市環境福祉部長寿・障害福祉課主査） ③：岐阜県・郡上市での取組み 山下修司（岐阜県・郡上市健康福祉部高齢福祉課課長補佐） ◎特別発言／解説（各事例の取組みポイントとその効果）（15分） 白山靖彦（徳島大学大学院医歯薬学研究部地域医療福祉学分野教授） ◎質疑（10分） コーディネーター：金丸吉昌（国診協副会長／宮崎県・美郷町地域包括ケア局総院長）
休憩（10分）15:10～15:20	
グループ検討	
15:20- 16:50	「地域の実情に応じた介護サービスの姿を描き出すためにすべきこと」 ○グループワーク：展開（60分） Step1 自地域の介護力の課題と照らし合わせ、基調講話、事例紹介から学んだこと Step2 地域の実情に応じた地域力・介護力の効率的効果のあり方を考える Step3 自地域でも活用したい各種支援制度とその活用法 ○発表・まとめ（20分） ○講評（各5分 計10分） 大湾明美（沖縄県立看護大学看護学部老年保健看護教授） 早坂聡久（東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科准教授） コーディネーター：後藤忠雄（国診協理事／岐阜県・県北西部地域医療センター長・ 国保白鳥病院長）
閉会	
16:50- 17:00	総括（閉会挨拶）：小谷和彦（離島等における介護サービスの提供体制の確保方策のあり方と 既存施策のあり方に関する検討委員会委員長） ※■アンケート記入のお願い

※プログラムは変更される場合があります。